

# 第3回チャレンジカップ京都大会感染症対策要項

令和2年9月30日

## 1 全体について

- 無観客で開催します。体育館へ入場可能な者は、選手、パラ・パワーリフティング連盟関係者（業者を含む）、記者、その他大会関係者のみとし、選手の家族等の入場は禁止とします。  
館内においては、選手ほか競技関係者とそれ以外の者で、入場可能なエリアを区分します。
- 密を避けるため、送迎車両を利用される方はその出発時間を厳守し、自家用車等を利用される方は不必要に長時間館内にとどまらないようにしてください。
- 館内の各部屋の用途、利用可能な者・人数等を制限しています。各部屋における指示に従って行動してください。
- 館内のゴミ箱は使用禁止とします。期間中に出了たゴミは、基本的に全て持ち帰って処分してください。

## 2 各部屋の利用等

- 別に定める「館内図」に記載のとおり。
- 待機・休憩される時は、選手は研修室または多目的ホールを使用してください。ただし、制限人数を超える場合等においては、他の部屋、敷地内の心身障害者福祉センター内の100m廊下等を使用してください。

## 3 検量

- 検量は、トレーニング室（体育館入口から左奥、測定機器等を設置している部屋）にて実施します。検量の順番が次の方は、談話室・図書室にて待機してください。
- 検量の都度、機器及び周辺の資機材を消毒してください。

#### 4 試技

- 選手、関係者いずれも、できるだけ大きな声を出さないようにしてください。記者等エリアから観戦・取材している方も同様です。
- 試技の都度、機器及び周辺の資機材を消毒してください。
- コーチについては、マスク及びフェイスガードの両方を着用してください。選手については、試技・アップ中以外はマスクを着用し、試技・アップ中はマスク又はマウスシールドを着用してください。

#### 5 昼食

- 昼食をとられる際は、100m廊下を利用してください。ただし、競技前の軽食を選手がとる場合は、選手控え室においてのみ可とします。その際、対面での食事は避け、ゴミは各自で持ち帰っていただき、使用されたテーブル等は各自で消毒してください。
- 食事のゴミも、必ず各自で持ち帰るようにしてください。関係者等の仕出し弁当、容器等のゴミは、指定場所に回収してください。

#### 6 取材

- 競技中の動画、写真撮影は、指定のエリアでのみ可とします。
- 選手へのインタビューは、オンラインにより実施します。詳細は、取材申込み後に案内します。
- 取材可能時間帯を超える滞在は認められません。
- 事前に申込許可を得ていないメディア・記者等の入場は不可とします。
- 取材当日は、来場時に受付にて手続を行ってください。受付時に、検温や体調チェック等を行います。
- 取材後に発熱（37.5度以上）等の症状がみられた場合は、取材申込の連絡先に報告してください。関係者間で、対応を協議します。
- その他、運営スタッフの指示に従って行動してください。